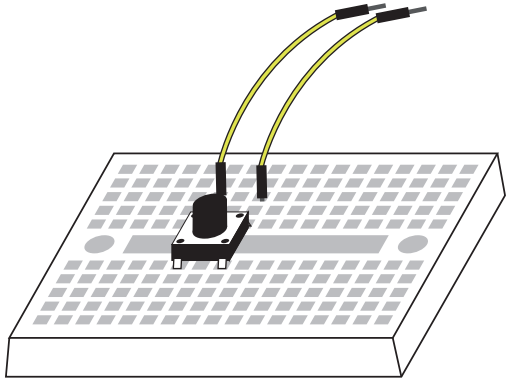
IchigoJam用 ブレッドボードセット スイッチを押して ブザーを鳴らそう！

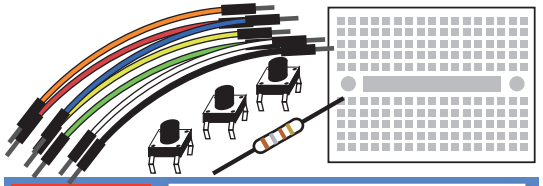
※RaspberryPiで使う場合は、
別途オス-メスコネクタケーブルか
オス-メス変換アダプタが必要です。



RaspberryPiで使う場合は、
サンハヤト製
ブレッドボード接続アダプタ「SBM-006」
カモン製
ピン配列変換・延長ケーブル「H-UL」
などが便利です。

内容品

- ブレッドボード x 1
- タクトスイッチ x 3
- 抵抗 1/4W 10kΩ x 1
- ジャンプワイヤー x 7

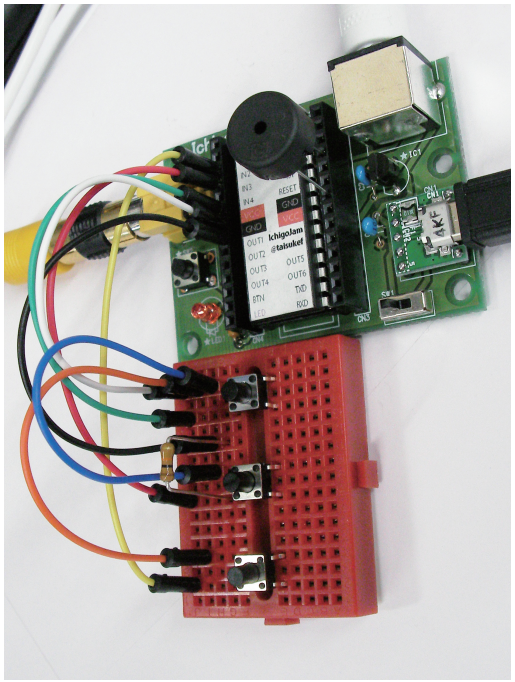


ものづくり シリコンハウス
創造館 KYORITSU 共立電子 検索
【営業時間】月～土☞10:00～20:00/日・祝☞10:00～19:00
大阪市浪速区日本橋 5-8-26 TEL：06-6644-4446

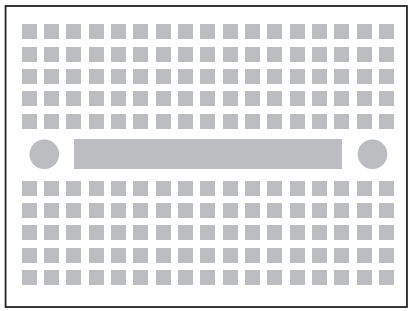
やってみよう!

IchigoJamのIN1に繋いだスイッチを押して
SOUNDにつないだブザーを鳴らす
プログラム例

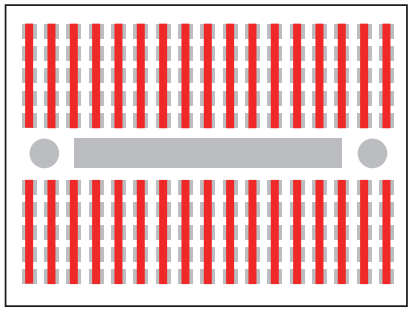
非公開
（製品版説明書に記載されています。）



ブレッドボードの構造

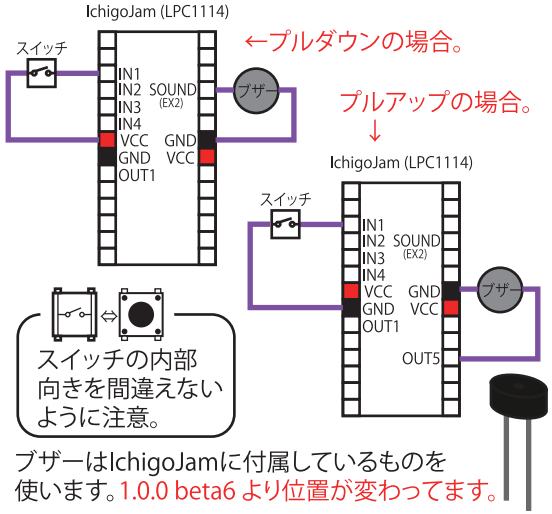


↓↓中はこの様につながってます。↓↓



配線図

IN1・4 の端子はIC内部で抵抗でプルダウンされているので、そのままスイッチをつなげるだけです。
IN2・3 は特殊な端子なので抵抗が必要です。
※ファームウェアが 1.0.0 beta6 まではプルダウン、1.0.0 beta7 よりプルアップとなります。



ブザーはIchigoJamに付属しているものを
使います。1.0.0 beta6 より位置が変わってます。

IchigoJamの入力端子の違い

IchigoJamには、IN1・IN2・IN3・IN4と4つの入力端子があります。
IN1・IN3・IN4は「デジタル」入力端子ですので端子の状態を 1 か0のどちらかで表します。
IN1とIN4は、IC内部で抵抗につながっています。
ただし、IN3はオープンドレインという特殊な端子で、IC内部で抵抗はつながってません。
IN2は「アナログ」入力端子で、端子の電圧を読み取り、0～1023の範囲で表します。

IN2とIN3を関数IN()で使うときは、外部で抵抗をつないがないと上手く動かないので注意。

上級者向け

IchigoJamのIN1、IN2、IN4に繋いだ3個のスイッチを使ってブザーを鳴らす
プログラム例 (IN2は抵抗でプルダウン)

非公開
（製品版説明書に記載されています。）